

科目名		建築デザイン演習			
担当教員		中野 聖奈		実務授業の有無	○
対象学科	建築デザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>年々進化を続け、新たな建築業界の主流になる「BIM」というツールを学び、身に付けていく。オートデスク株式会社のBIMソフト「Revit」の基本動作から、自分の表現したいことを適切に表現する方法や、実務で使える豆知識などを学んでいく。</p> <p>建築デザイン演習では、「Revitを使った表現を豊かにする」ことを目的とする。オリジナルファミリの作成やパースの表現方法（リアリスティックやイラスト）を演習を通して学んでいく。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>オリジナルの作品を自由にモデリングできる。(非住宅程度)</p> <p>Revitを用いて適切な図面表現ができる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	<p>はじめてのRevit&amp;Revit LT</p> <p>配布オリジナル資料</p>				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	ファミリの作成 (テキストの内容)			テキスト内のファミリを作成し、ファミリの作成方法を復習する。	
2	ファミリの作成 (オリジナル作成)			課題のモデリング表現をより豊かにするオリジナルファミリを3つ以上作成する。	
3	パースの作成			外観パース、内観パース、及び鳥瞰図を適切な位置から作成する。	
4	パース表現Ⅰ (リアリスティック調)			作成したパースをリアリスティック調に設定し、レンダリングを適切に行う。リアルを追求し、背景やマテリアルも併せて作成、設定をする。	
5	パース表現Ⅱ (イラスト調)			作成したパースをイラスト調に設定し、レンダリングを適切に行う。イメージに合わせて背景やマテリアルも併せて作成、設定をする。	
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
ファミリ作成	パース表現Ⅰ	パース表現Ⅱ	課題提出締切	<p>「BIM」は、建築業界及び自分の可能性を広げるツールです。中でも「Revit」はこれから主流となっていくであろう重要なソフトの一つです。それを学生のうちに使いこなせるようになっておくこと社会に出たからの活躍の幅が大きく違うはずで、ぜひいっぱい触って、楽しみながら技術を身に付けましょう。</p>	
30 %	30 %	30 %	10 %		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		意匠設計実務4年			